

田中ひさと

後援会通信



【事務所】
〒524-0043
守山市二町町174-3
TEL077-583-0752
携帯090-2211-6435

今日まで地域の皆様の声を聞きながら議員活動に邁進してまいりました。今後も皆様の声を市政に反映するべく活動して参りますので、引き続きのご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

TOPICS / トピックス

●環境センターの工事が始まりました。
本市の最重要課題である環境センターの更新にむけての工事が本格的に始まりました。令和3年の秋に稼働予定です。

●市立古高保育園が廃止され、学校法人ヴォーリス学園により「ふるたか虹のはし保育園」が4月に開園しました。
ふるたか虹の橋保育園の開園や小規模保育園の開園により市内保育園全体の定員は大きく増えましたが、昨年より大幅に保育園への入園希望が増えた為、待機児童が出てしまっている状況です。今後も待機児童0に向けて対策をしていきます。

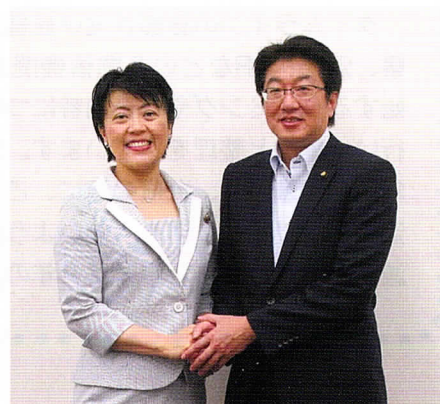
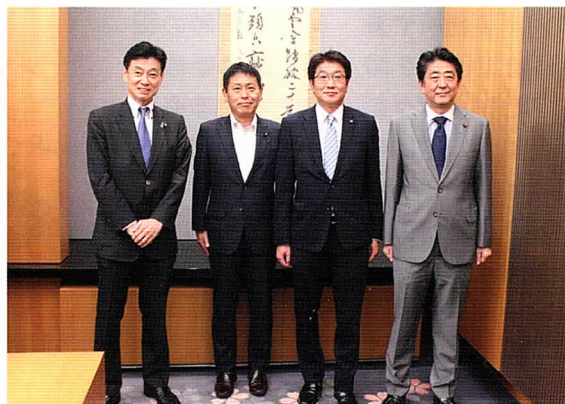
田中ひさとの守山市議会定例会での一般質問より

小中学校の夏休み期間の検討について

問 2020年度に新学習指導要領が完全実施されると、英語学習拡充のために小学校3～6年生は年間授業時間が35時間増えます。現在は移行期間であり、年間15時間を確保する必要があるが、どのように時間を確保しているのか。また、2020年度に35時間はどのように確保されるのか。近隣の草津市や野洲市などは本市より夏休みを1週間短くされており、全国的にも夏休みを短縮する動きが出てきている。本市においても小中学校の空調は整備されており短縮は可能であると思う。また、授業時間の確保だけでなく、従来の夏休み期間に授業を行えば、1日当たりの授業時間が減らせ、教員にとっても時間的な余裕が生まれ残業が減らせるのではないかとも思う。夏休みを短縮して授業日数を増やせば、授業時間の確保と学校活動の過密度を減らし、より充実した授業に繋がるとも考えるが、教育長の考えを伺う。

答 現在は総合的な学習の時間を年間70時間から15時間減じて英語教育に取り組んでいます。これは移行期間に限った措置であり、平成32年度には、総合的な学習の時間はもとの70時間に戻ることから、新たに35時間の授業時間の確保が必要です。そのため長期休業日の短縮も考えられるが、長期休業日は、子どもにとって家庭や地域との触れ合い、自由研究や自然体験など貴重な体験活動の機会であり、教職員にとっても集中休暇の取得や自主研修の機会でもあるので今後も校長会と慎重に協議を重ね、総合教育会議においても意見交換しながら検討して参ります。

今後、長期休業日の短縮は、就学前の園や放課後児童クラブなどの他機関、また地域行事への影響も考えられるので、できるだけ早い時期に方針を固め、次年度の中頃には関係機関への周知を図ってまいります。



教育施設の安全点検について・民間ブロック塀改修の促進について

問 昨年6月に発生した大阪北部地震では、学校のブロック塀の下敷きになり児童がお亡くなりになるという行政の責任ともいえる事故がありました。本市では学校施設の点検や調査をどのように漏れのない安全点検を徹底していくのか伺う。

答 学校施設は児童・生徒が多く時間を過ごす場であるとともに、大規模災害が発生した際の避難施設でもあることから、日々の維持管理、安全点検に努めています。3年ごとの定期点検や1年に2回の消防設備点検、また屋外遊具に関しては専門業者に委託しての点検・調査を行っております。加えて先生にも定期的に点検を行ってもらい発見された不具合箇所は緊急度や危険度を見極めて都度対応をしています。



問 大阪北部地震を機に本市では教育部局を中心に通学路に隣接したブロック塀の安全点検をしていただき、危険と思われる塀の所有者には、撤去や改修の依頼を行っていただきました。また民間ブロック塀等改修促進事業を創設しましたが、この制度を利用された実績はどの程度あるのか。また、事業のより一層の促進のために今後どのように取り組んでいかれるのか、見解を伺う。

答 今年度のブロック塀等改修促進事業補助金の状況は、相談が56件、うち交付申請が26件、補助金額は当初予算の300万円を上回り、約450万円となる見込みで、積極的に補助金を活用いただいています。市としては、より一層市民の皆さまの利用促進に繋げて行く必要があり、そのために広報、ホームページ、チラシ等の他に、来年度は自治会への回覧を行う中で積極的に補助制度の周知徹底に努め、通学路につきましては教育委員会と連携を図る中、引き続き戸別訪問を行うなど、更なる事業推進を図ります。

防災行動計画(タイムライン)について

本市では、これまでの災害時の行動を振り返り、検証を行うことで課題を抽出し、その課題の改善を図るとともに、さらに消防、警察、ライフライン・交通機関等の企業と連携したものとなる、タイムラインを平成30年度中に策定するとされていますが、今年の7月には「平成最悪の水害」が発生しました。大規模な災害に備えて、避難勧告等をタイミングよく発令できるよう時系列に整理したタイムラインの一刻も早い整備が必要だと思いますが。現在の整備状況と運用の状況。また、先日の台風21号において本市の対応で活かされたこと、また今後に向けての課題などはあったのでしょうか。

タイムラインの整備状況は琵琶湖河川事務所や警察、消防、JRなどの各関係機関から防災行動を開始するタイミングや行動内容についてヒアリングを行い、集約と整理をしています。運用については今年7月の豪雨や、台風の際に、このタイムラインを活用し防災行動に漏れの無いように努め、被害の軽減を図っています。今後は今年の災害をモデルケー

スに検証を行い、年度末には、より実効性の高いタイムラインを策定します。次に、先日の台風21号については予報での最接近する時間に向けて、現在策定中のタイムラインに沿って対応し、定めている防災行動が実施出来たと考えている。しかし、課題としては強風の影響で長時間の停電が発生し、一部の下水道施設の運転が停止してしまいました。今後の対策としては、発電機の設置に伴う資機材および電気・機械に精通した人員の確保、また関西電力とのホットラインを活用した対策の検討が必要であると感じました。また、公共交通機関の運休に伴い、災害対応を行う職員の出勤に影響を及ぼしました。改めて災害時の職員の通勤手段について考える必要があると感じました。

